



高速しが

令和7年
(2025)
10月号

発行 滋賀県高速道路交通警察隊：滋賀県高速道路交通安全協議会

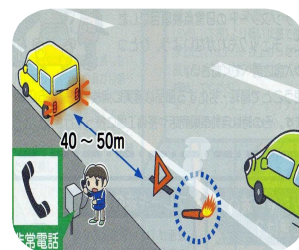
行楽期の運転は「ゆったりと」

行楽シーズンは、レジャーや帰省のため車を長時間運転する人も多く、車両も増えて交通事故も多発します。高速道路は「急がなくても早い道」です。

しっかりと交通ルールを守り、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない運転を心がけましょう。

◎ 高速道路は駐停車禁止です

高速道路での駐停車は禁止されています。事故や故障などでやむを得ず路肩に停車する場合は、ハザードランプ、三角表示板、発煙筒等を活用して後続車へ合図をし、全員が車から降りてガードレールの外など、安全な場所へ待避して救援を待ちましょう。



◎ スピードを上げると視野が狭くなります

止まっているときは視野が200度位あるのに対し時速100kmのときの視野は40度位しかありません。スピードの出し過ぎや、周囲の走行車両の動きに注意して運転しましょう。

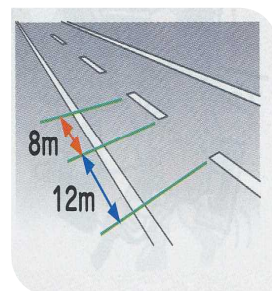
◎ 車間距離を十分にとりましょう

車間距離を十分にとることで追突事故のリスクは軽減できます。

安全な車間距離の目安は、時速100kmで走行する場合は約100m、時速80kmで走行する場合は約80mと言われています。(乾燥路面、新しいタイヤを装着した状態の目安です)

高速道路の車線境界線は、白線の長さが8m、白線と白線の距離が12mで合わせて20mの間隔で表示されています。

前車との車間距離を確認するときの目安にしてください。

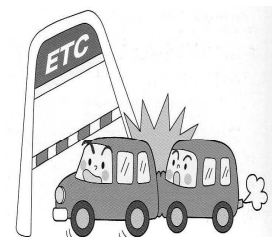


◎ ETC料金所利用時の注意点

ETCカードの挿入を確認しましょう(有効期限にも注意)

ETCレーン内では十分な車間距離を取り、時速20km以下に減速して通行しましょう。

料金所を通過する際は、隣のレーンの車との合流に注意しましょう。



トンネル走行時のポイント

トンネルの入り口では

トンネルの入り口に設置されているトンネル入り口情報板やトンネル入り口信号機に注意して走行しましょう。

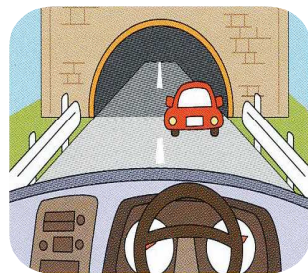


トンネル内では

トンネル内は勾配を感じさせる対象物が少ないため、知らないうちにスピードが出すぎたりスピードダウンしてしまい、急激に車間距離が詰まってしまうがちです。勘に頼らずスピードメーターを確認しながら走りましょう。

ブラックホール現象

外の明るさとの対象で、トンネルに入っていく前の車が、トンネルの黒い影に吸い込まれて見えにくくなる現象をいいます。そのためドライバーが心理的に不安になり、スピードを落としたり、急な車線変更をするなどして後続車が追突する事故の発生も見られるので注意しましょう。



感覚のずれに注意

トンネル内では、風景が単調なため走行感覚が通常の状態とずれることがあります。走っている車なのか、止まっている車なのかをとっさに判断しにくくなります。このような感覚のずれによる判断の遅れが、事故に結びつくことがあるので、注意しましょう。

トンネル出口の横風に注意

トンネル出口では、横風にあおられハンドルを取られることがあります。

出口に近づいたらスピードを落とすなどして十分注意しましょう。



逆走＝重大事故

☑ 進行方向をしっかり確認する！

インターチェンジやサービスエリアなどから本線に流入する時は、案内標識や道路標示で進行方向をしっかり確認しましょう。

☑ 本線でのUターンや後退は絶対禁止！

目的のインターチェンジを通り過ぎた時は、次のインターチェンジまで行き、料金所の職員に説明し、指示を受けて下さい。